



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひるば

第97号

発行日/2010.3.5

発行/ひたち生き生き百年塾推進本部

編集/百年塾情報部

事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150

〒317-0064 日立市神崎町1-6-11

百年塾 連携で新たな事業を見出す議論の1年

ひたち生き生き百年塾は日立市民の生涯学習として昭和63年にスタートしました。今年度は各種団体や機関、産業などとの連携で、新たな事業を見出すため

の議論を重ねてきました。日立市コミュニティ推進協議会との連携体制の構築や事業などについて協議、同じ目的で活動する団体同士の協働が実現しそうです。

ヒアリングを基に新たな取り組み

これまでの事業が百年塾の理念である「人づくり」「まちづくり」のきっかけや仕組みづくりにつながっていたのかどうか、大いに議論した1年でした。

ネットワーク部会では20年度に市内の交流センターを訪ね、その学区（地区）コミュニティ推進会で実施されている事業や百年塾との関係などについて聞き取り調査を実施しました。その結果を基に各部会に関係ある項目や新たな取り組みなどについて意見交換を行いました。

また、百年塾とコミュニティ推進協議会の正副会長との話し合いを行い、22年度から連携での事業実施の可能性などについて協議、コミュ

ニティ推進会の単会が実施しやすい事業やプログラムの提供、必要に応じて話し合いの場を設けるなどの意見や、もう少しコミュニティ単会のことを知る努力もしてほしいとの要望も出ました。

担当課である生涯学習課と市民活



来年度に向けて各部会とも熱心な話し合いが

動課を通し、コミュニティ推進協議会役員会、そして会長会議を経て、単会で実施するというルールを守りながら、連携体制を構築していくことを確認しました。

「連携・協働」をつなぐ仕組み

現在、各部会ともに新たな事業の立案に知恵を絞っている段階です。「何と何」「何処と何処」など様々な組み合わせによって新しい事業や活動が生まれ、多くの人たちが

関わるきっかけを創っていきます。すでに多様なテーマで活動している各種団体やグループなどの活動を支援しながら、それらをつなぐ仕組みづくりが必要です。

百年塾はこの仕組みのコーディネーターとして新たな発想で事業組み立て、実験事業などに取り組んでいきます。実践あるのみ、新たな一歩を踏み出します。

募集します！

あなたも百年塾推進委員に

「ひたち生き生き百年塾」は、市民生活のあらゆる分野において、互いに学びあい、教え合いながら日立のまちづくりにつながることを目的に生涯学習運動を進めています。

百年塾推進本部には目的達成のために情報・人財・ネットワーク・学校・産業の5部会を設けています。現在、約160名の推進委員が活動しています。

誰でも百年塾の推進委員になることができます。新しい推進委員を募集していますので、関心のある部会で一緒に活動してみませんか？

詳しくは百年塾サロンにお問合せください。(☎23-9165)

シリーズコミュニティ訪問①

中里学区コミュニティ推進会

豊かな自然に囲まれた中里地区は、助け合いタクシー「なかさと号」のNPO法人としての運行開始、おもちゃライブラリーの開設や長寿大学・生涯学習の新講座開設など活発な活動を行っています。生活の足と



認定講習では車イスの扱い方も学習

なる「なかさと号」は運転者の認定講習会を開催し新たに16名が認定されるなど順調な運行のようです。

近年中里は地区の人口が1300人台になるなど少子高齢化が進む厳しい環境ですが、住民みんながお互いによく知った仲であり、地域の問題はみんなで解決していくという助け合いの心は昔も今も変わりません。

コミュニティのホームページは「ぐるっと中里」の美しい四季の草花や里山風景、心和さんぼ道など写真が満載で一度は訪ねてみたいとなります。ぜひクリックしてください。<http://www.net1.jway.ne.jp/nakasatokouryusenta/index.html>

成果あり！手をつないだ第一歩

自分たちを取り巻くさまざまな環境には、ひとりでは解決できないことが数多くあります。しかし、もう一人の人もあるいは他の団体や仲間たちと手を組んで動き

出すことで、成果が上がり解決につながるようになります。まずは気がついた人が声を出し、つなぎ役として一歩を踏み出すことから始まります。

理科ってこんなにも面白い

小・中学生の理科教育の支援をしたいと、日立製作所のOBが昨年5月に発足させた日立理科クラブ。その活動の一つに「理科室のおじさん」の派遣があります。現在、市内11の小学校に常駐し、理科の授業のサポートはもとより理科室の整理整頓や実験に使う装置の作成なども行っています。

1月27日、豊浦小学校の6年生の授業ではメンバーのひとり後藤賢治さんが「電熱線の熱の伝わり方」の指導をしました。

基本的なことは担任の先生が教え、実験は後藤さんにバトンタッチという息のあった授業に子どもたちは引



き込まれ、真剣な面持ちで実験に取り組んでいます。8つのグループが使う実験装置は後藤さんの手作りです。グループ間の実験データに差が出ないよう装置を同一に揃えるなど、細かな工夫もしています。

先生たちは、「理科室のおじさん

のおかげで指導が行き届き、安全面からも大助かり。何よりも子どもたちが楽しそうです」と話します。

理科クラブに授業後、子どもたちから「授業がよく分かって楽しかった」「理科が好きになった」などの手紙が届けられるなどのうれしい交流もたくさんあります。理科離れが心配される教育の現場で、ますます活躍の場が求められそうです。

海岸清掃の仲間たち

「河原子海岸をきれいにしたいね」この一声から海岸を清掃するボランティアグループが誕生。昨年5月から10人のメンバーで活動しています。

リーダーの富田滋男さんは、河原子在住の友人で以前から地元の防犯協会委員として一日一回は海岸をパトロールしている渡部博さんに相談。お互いに環境に対する思いで共感し合い、さっそく清掃場所や時間、ごみの処理方法などを決めて周囲に参加を呼びかけました。集まったメンバーは、社会福祉協議会や老人施設、女性センターなどそれぞれにボランティア活動をしている人たちです。

みんなが、海岸をきれいにしたいという同じ思いを持ち、月2回の海岸の清掃は無理のないように「参加できる人で」としていることが長続きの秘訣のようです。

市から提供のボランティア用と明

記されたゴミ袋はすぐにいっぱいになります。朝の海岸の気持ち良さは格別。メンバーは海岸清掃を始め



てから早起きになり、健康も維持できると楽しそうです。

安心できる出産・育児を

2月1日、すくすくセンターで「看護師さんと語ろう」と題した集まりが開かれました。

昨年、医師不足のため分娩予約を中止している日立総合病院が、子育て中のお母さんたちを少しでも支援



しようとする看護師さんを講師として派遣。出産の神秘や命の大切さ、子育てのポイントなどを話しました。受講中、託児室から聞こえる子どもの泣き声を心配する場面も見られましたが、みな真剣に耳を傾けていました。育児や出産の不安、悩みなどをもっと話したいとの声が寄せられ、継続が期待されています。

2月に、日立総合病院に3名の産婦人科医師の着任が決まったとの新聞報道がありましたが、こうした膝を交えた話し合いをこまめに重ねながら安心して出産・育児ができるまちにしていきたいものです。

日立さくらまつり 百年塾コーナーを開設(平和通りサガノ前)

みんなで遊ぼう昔の遊び！ 休憩所・地域資源の活用PR

4月3日(土)～4日(日) 11:00～15:30

平和通りを中心に日立さくらまつりが開催されます。百年塾は今年も参加します。「昔遊び」「地域資源PR」などのコーナーを設けます。休憩できる場所も用意しますので桜見物の際はお立ち寄りください。

他紙を見てステップアップ 「なるほど!PTA広報紙展」

2月9日から13日まで、日立市教育プラザ2階ギャラリーで「なるほど!PTA広報紙展」が開催され、市内の小・中学校PTAが発行した広報紙16点が展示されました。

最近の傾向としては写真やカットを多用し文章が少なくなりつつありますが、久慈小学校の広報紙は豊富な内容で読み応えがありました。会場では来場者が各校の広報紙を熱心に見入る姿が見られました。広報紙づくりの大変さや楽しさを体験している広報委員OGからは、「ここで添削を受けたことがとても参考になりました。広報委員さん頑張ってください」とのエールが寄せられました。

広報相談をした日高中の広報委員

は「興味を持って読んでもらうためには見出しがいかにか切かがわかりました。もう一度見直します」と話していました。

百年塾情報部会では毎年、年度初めに広報紙編集の基本を学ぶ広報



セミナーを開催しています。年間を通して出前相談も行っていますので、気軽に声をかけてください。連絡は百年塾サロンまで。

大沼小がネパールに 文房具を贈呈

百年塾が長年行っているネパールの学校建設に協力したいと、2月2日、大沼小学校でネパールへの文房具贈呈式が行われました。

百年塾では昨年12月初旬、同校6



年生の総合的な学習の時間に招かれ、百年塾の前副本部長でネパール学校訪問団の柳橋弘明団長らが、ネパー

ルに学校を造る経緯や現在の学校生活の様子、ネパールの国の様子や生活文化について話しをしました。

その後6年生の子どもたちは全学年に呼びかけ、各クラスの担当を決めて学用品を集めたり募金活動を行いました。児童、保護者、先生の協力で、たくさんの文房具と募金が集まったことから百年塾が再度招かれ、「ネパールのニガレ校に届けて下さい」とのメッセージに込められたやさしい心と、ずっしり重い文房具の箱や募金が託されました。

学校の中心となって積極的に活動した6年生全員の思いがネパール子どもたちに伝わることを願い、学校全体の生き生きとした空気を感じてきました。

まち案内人の活動がJWAYで放映

4月12日から18日までの1週間、JWAYで日立のまち案内人の活動の様子が放映されます。

「日立の桜めぐり」で、平和通りのソメイヨシノや諏訪のヤマザクラ、神峰公園、十王のパノラマ公園の桜や

記念碑などを案内します。

また今後、5月は田楽鼻(田楽鼻公園、長塚節の歌碑)、6月には古房地公園(灯台、石川啄木歌碑など)、7月に河原子海岸・烏帽子岩(藤田東湖の詩碑、河原子八景の碑)の収録・放映も行われる予定です。

22年度 百年塾広報セミナー

第1回 「広報の基本の基」

広報紙づくりの基本を学びます。

●とき 5月8日(土)13:00~

●場所 視聴覚センター

第2回 「編集のしかた」

実際に編集をしてみます。

●とき 6月12日(土)13:00~

●場所 視聴覚センター

「母の鐘」を撞いて46年

西成沢町の宝塔寺の梵鐘ぼんしやうは、昭和38年に一円玉募金を土台にした母親たちの努力の結晶から生まれ、「母の鐘」と呼ばれています。親の願いを込めて朝6時、夕方6時の一日2回撞かれています。

この鐘を長い間撞いている住職



の長谷川順昭さんは昭和35年に、地元の人たちから請われて単身東京から成沢の無住寺に来ました。当時は雨漏りがする茅葺屋根の草庵で、血の滲むような辛苦の末に地元有志の心強い支援で本堂と梵鐘を完成、以来46年毎日鮎川周辺、成沢、諏訪一円に鐘の音を響かせています。

かつて宝塔寺に幼稚園が併設されていた時には園児たちが帰る時に鐘を撞き、その音を聞いて「子供が帰ってくるね」と親たちが安堵したそうです。

「鐘聞いてつめたき床を出でにけり」。この句は宝塔寺の近くに住む女性が新聞に投句したもので、住職の心強い励みになっています。



百年塾ひろば

平成22年度 **受講生募集**

ひたち市民カレッジ

生きがい探し 仲間と出会い 楽しく学ぼう

- 開講日 平成22年6月9日～12月8日(全20日)
原則水曜日の9:30～14:20
- 場所 主として茨城キリスト教大学(JR大みか駅隣接)
- 講座内容 環境問題、教育福祉など一般教養科目
生きがい探し、まちづくり、地域活性化など生涯学習科目
趣味、仲間づくりなど自主活動科目
- 講師 大学教授、市民教授、日立市・市民活動関係者
- 募集人員 42名(先着順)、概ね70才以下の方
- 受講料 日立市内の方7,000円、日立市外の方10,000円
(自主活動、教材費など自己負担あり)
- 申し込み 5月14日(金)まで 往復はがき、FAX、Eメールなど
氏名、性別、生年月日、住所、電話番号を記入
はがき:〒317-0064 日立市神峰町1-6-11
ひたち生き生き百年塾推進本部
FAX:0294-24-5200
Eメール:iki100j@net1.jway.ne.jp
- お問合せ 百年塾サロン 電話0294-23-9165
ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>
- 共催 茨城キリスト教大学

人づくり・まちづくりをめざす 生涯学習講演会

2月8日、らぽーるひたちで、桜美林大学名誉教授の瀬沼克彰さんによる「地域を活かす生涯学習」の講演会が行われました。参加者はコミュニティおよび百年塾の推進委員など78名です。

瀬沼さんは「全国的には小学校区ごとにコミュニティ組織をつくることは難しいとされているが、日立市の取り組みは珍しい。コミュニティづくりは地域の人たちが顔見知りになることが大切」と話しました。

また、事例を紹介しながら「生涯学習は行政主導から住民主導していかなければならないが、成功例は少ない」と百年塾に注目。「人づくり・まちづくり」をめざして歩んできた

百年塾20年の活動の意義と方向性を再確認する機会となりました。



全国の事例をもとに

私たちは百年塾運動を応援します 2009.11.1～2010.2.12(敬称略)

日立高速印刷(株) 栃沢森二 小田切亘 黒田よしえ 永山幸子 山中秀子 永井久善 堀三千男 和田克夫 佐野光子

百年塾協賛金にご協力を!

- 個人 一口 1,000円
- 団体 一口 5,000円

「百年塾ひろば」を充実させるために、市民の皆さんのご意見や情報をお寄せください。

日立の海の幸をどうぞ!

ひたち地魚倶楽部

日立の海でとれた新鮮な魚を、その店ならではの料理で味わってもらおうと、2009年『ひたち地魚倶楽部』が発足しました。現在、市内34のお店が加盟しています。

日本料理

和食屋 まんぼう/魚の宿 忠/たらふく亭/日立丸金/司季彩庵 まさし/御食事処 天力/和風レストラン はくせん/御食事処 白山/割烹 藤一

すし処

お食事処 浦島/寿司割烹 新富鮨/すし昭/寿司処 一光

イタリア・中国料理

イタリア家庭料理ペイカナーズ/蛮蛮飯店

ホテル・旅館

ホテル日航日立/ホテル天地閣/薬湯旅館 長寿の湯

居酒屋・味処

満平/やきとりの名門 鳥太郎/居酒屋 父屋(ととや)/食彩酒 つくしんぼ/やき鳥 みや川/いらい/食工房 ぶん吉/旬菜喰楽ぶ TOMO/旬彩忍家 蛭 HoTARU/やき鳥 金太/旬肴料理 楽山/海鮮酒房 心粹/居酒屋 新橋/七彩さくら/格子屋日立駅前店/海鮮茶屋 濱膳

市民教授(新登録)

2009年12月～2010年2月に登録された方(敬称略)

- 前田潤子 大沼町(トールペイント)
- 鈴木米征 金沢町(やさしい心理学・交流分析)
- 塩田正子 多賀町(手作り針仕事一洋裁)
- 本田亜希子 大沼町(カイロプラクティック理論に基づいた健康体操)